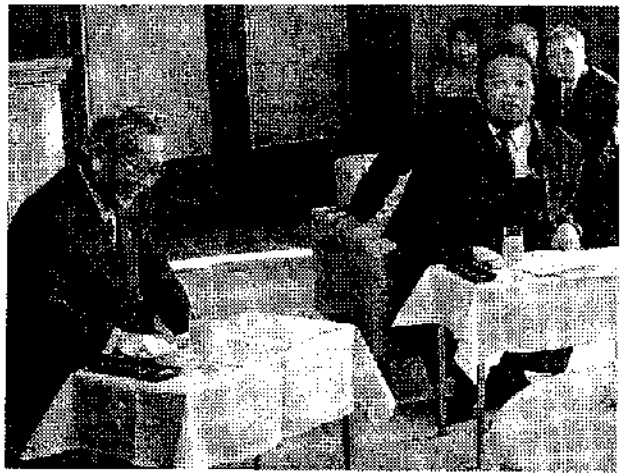


特区認定へ協力姿勢 村上行革相、加戸知事を訪問

県庁を訪問し、加戸知事と
会談する村上行革相(右)



村上誠一郎行政・規制改革担当相(衆院愛媛2区)が七日、県庁を訪問し、加戸守行知事と会談。知事は、県提案の公共施設への木材利用を促進させる特区などの認定で「配慮をお願いしたい」と求めた。村上担当相は「可能な限りバックアップしたい」と述べ、最大限協力する考えを示している

とされる点では、ダイエー再建問題で四国からの撤退が検討され

「個別の問題は差し控えたい」としながらも、「一般論として、引き続き営業する受け手が地元になれば、必ずしも直ちに閉鎖するわけではない。受け皿がある場合は、地元の皆さんの力を結集して営業を継続できるケースも十分あると考えている」と述べた。

三位一体改革については「個人的見解」とした上で、「最初の段階で、国がやる仕事、地方に任せる仕事、民間に任せる仕事と、哲学があるべきだったと思う。残念ながら金目話になったために、一番削りやすいところから削る形にしてしまったのではないか。残念に思う」と述べた。